

近畿地方整備局 河川部地域河川課
資料配付

配布日時	平成24年12月27日 14時00分
------	-----------------------

件名	各府県や市町村の技術者250名が 「近畿河川技術研修」に参加 ～河川管理者の技術力向上により安心・安全確保を図ります～
----	---

概要	<p>●開催日時 平成25年1月24日(木)～25日(金)</p> <p>●場 所 近畿地方整備局第1別館大会議室 大阪市中央区大手前1-5-44</p> <p>●講義内容 第1日目(1月24日)10:00～16:40 「予測技術に関する最新の知見について(仮題)」 京都大学大学院 准教授 立川 康人 「豪雨災害と災害情報ー最近の日本各地での災害事例から学ぶことー」 静岡大学 防災総合センター 准教授 牛山 素行 「事例発表」地整及び各府県</p> <p>第2日目(1月25日)13:50～16:40 「南海トラフ巨大地震について」 関西大学社会安全学部 教授 河田 恵昭 パネルディスカッション(研修生から発表・討議) ①地域特性に応じた、自然災害への対策 ②治水対策としての情報の公表のあり方</p> <p>●報道関係者の傍聴、カメラ撮りも可能です。</p>
----	---

取扱い	_____
-----	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
------	-----------------------

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 地域河川課 課 長 平松善勝(内3811) 課長補佐 西村信彦(内3812) 電話：06-6942-1141(代表) 電話：06-6942-4407(直通)
------	--

平成24年12月

平成24年度 近畿河川技術研修のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、近畿地方の国土交通省近畿地方整備局、各府県、市町村等の河川技術者の技術力向上を図るため、各地域が抱えている課題等を取り入れて、近畿河川技術研修を開催することと致しました。本研修は平成17年度から開催しており、今年で8回目となりますが、これまでに多くの成果を上げてきたところでございます。

今回の研修は「猛威をふるう自然災害に対する河川の取り組み」をテーマに開催いたします。この機会に是非ご参加をいただき、河川の事業や管理業務にお役立ていただきたいと願っています。

多数の皆様がご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

- 1. 目的** 河川関係の業務を担当する国土交通省、府県、市町村の職員及び各種団体の会員を対象に、今後の河川事業実施上の課題と問題点について、ともに学び議論する場を設けることにより、近畿における河川の事業や河川管理業務の強化・充実に役立てることを目的に実施します。
- 2. 日時** 平成25年1月24日（木）～1月25日（金） 2日間
- 3. 場所** 近畿地方整備局第1別館大会議室
大阪府中央区大手前 1-5-44 電話 06-6942-1141（代表）



最寄駅：

地下鉄谷町線「天満橋駅」3番出口から徒歩2分
(東へ約100m)

京阪本線「天満橋」駅東口から徒歩5分

JR 東西線「大阪城北詰」駅2番出口から徒歩15分



4. 研 修 科 目 別紙のとおり
5. 受講予定人員 250名（研修生100名 聴講生150名）
 及び受講対象者 研修生：近畿地方の行政職員等
 聴講生：どなたでも参加できます
6. 受 講 区 分 研修生：すべてのプログラムにご参加いただきます
 聴講生：分科会および関連プログラム（1日目17時～2日目午前）にはご参加いただけません
*聴講生は、2日目は13時50分からの受講となりますのでご注意ください。（受付は13:20～13:50予定）
7. テキスト代 無 料
8. 主 催 近畿河川技術研修実行委員会
9. 共 催 国土交通省近畿地方整備局、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、(社)建設コンサルタンツ協会近畿支部、(社)近畿建設協会、(財)河川環境管理財団、公益社団法人日本河川協会、(財)河川情報センター
10. そ の 他 (1)テキストは、当日受付の際にお渡しいたします。
 (2)宿泊と昼食は各自で手配ください。
 (3)修了証の交付は省略いたします。
 (4)本研修は「土木学会 CPD プログラム」に認定されています。

平成24年度近畿河川技術研修 プログラム

日時：平成25年1月24日（木）～25日（金）

場所：近畿地方整備局第1別館 大会議室

研修テーマ：「猛威をふるう自然災害に対する河川の取り組み」

*** 本研修は財団法人河川環境管理財団の河川整備基金により実施しています。**

月日	時間	講義科目	講師等
第1日 1/24（木）	9:30～10:00	受付	
	10:00～10:10	実行委員会委員長挨拶	国土交通省近畿地方整備局 河川部長 名波 義昭
	10:15～11:15 (60分)	第1講義「予測技術に関する最新の知見について（仮題）」	京都大学大学院 准教授 立川 康人
	11:20～12:20 (60分)	第2講義「豪雨災害と災害情報ー最近の日本各地での災害事例から学ぶことー」	静岡大学 防災総合センター 准教授 牛山 素行
	<休憩 60分>		
	13:20～16:40 (190分, 休憩 10分)	事例発表「各河川における取り組み」 (詳細次頁参照)	コーディネーター 近畿地方整備局福井河川国道事務所 所長 岩下 友也 アドバイザー 河川環境管理財団研究顧問
		セッション1 想定される南海東南海地震等による 津波対策について	発表：大阪府・和歌山県
		セッション2 局地的集中豪雨への対策について	発表：福井県・京都府・奈良県・国土交通省
		セッション3 治水対策としての情報の公表について	発表：滋賀県・兵庫県
		16:55～	分科会事前打ち合わせ会議
第2日 1/25（金）	9:30～10:00	受付	分科会【分科会テーマ】
	10:00～13:00 (180分)	分科会	①地域特性に応じた、自然災害への対策 ②治水対策としての情報の公表のあり方 * 研修生は10名程度の小グループで議論を深める
	10:00～12:00	討議	
	12:00～13:00	分科会 討議内容取りまとめ	
	<休憩 50分>		
	13:50～14:50	特別講演「南海トラフ巨大地震について」	関西大学社会安全学部 教授 河田 恵昭
	15:00～16:30 (90分)	パネルディスカッション 分科会報告	コーディネーター 近畿地方整備局姫路河川国道事務所 所長 松木 洋忠 パネリスト 分科会発表者（研修生） アドバイザー（調整中）
16:30～16:40	閉講挨拶	財団法人 河川環境管理財団 理事長 鈴木 藤一郎	
16:40	閉講		

青字は研修生のみ参加するプログラムです（聴講生は参加いただけません）

第1日目 事例発表予定

セッション1「想定される南海東南海地震等による津波対策について」

- 大阪府内河川における津波対策について
大阪府都市整備部河川室河川環境課防災グループ 課長補佐 柳川 尚
- 紀伊半島大水害を踏まえた治水対策と津波対策について
和歌山県県土整備部 河川・下水道局 河川課 河川企画班 主任 田原俊嗣

セッション2「局地的集中豪雨への対策について」

- 山間地域におけるゲリラ豪雨対策について
福井県土木部砂防防災課 課長 脇本 幹雄
- 京都府南部豪雨水害対応について
京都府建設交通部河川課 主任 岡 洋志
- 紀伊半島大水害における河川災害復旧事業について
奈良県土木部河川課 主幹 平岡 伸之
- 熊野川の激特事業について
国土交通省近畿地方整備局河川部 建設専門官 田中 徹

セッション3「治水対策としての情報の公表について」

- 水害リスク情報の公表について
滋賀県土木交通部流域政策局流域治水政策室 主査 中西 宣敬
- 総合治水条例とその取り組み状況について
兵庫県県土整備部土木局総合治水課計画係 主査 石原 純